

ゲノム編集技術の利用により得られた生物に関する生物多様性影響等検討会  
議事概要

1 日時 令和4年11月22日（火）

2 場所 持ち回り開催

3 出席者

学識経験者：別紙のとおり

行政部局：農林水産省消費・安全局農産安全管理課

環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室

4 議事概要

「農林水産分野におけるゲノム編集技術の利用により得られた生物の生物多様性影響に関する情報提供等の具体的な手続について」（令和元年10月9日付け元消安第2743号農林水産省消費・安全局長通知）に基づき、事前相談のあった可食部増量マダイ（E361-E90系統、従来品種-B224系統）及び高成長トラフグ（従来系統-4D系統）について、生物多様性影響に関し専門の学識経験を有する者から意見を聴取した。

その結果、当該マダイ及びトラフグは遺伝子組換え生物等に該当しないこと、また、生物多様性への影響は想定し難いこと等について、疑義がない旨を確認した。

※ 会議資料等については、個人の秘密及び法人の知的財産等の情報が含まれており、公表した場合に特定の者に不当な利益又は不利益をもたらすおそれがあるため公表しておりません。

ゲノム編集技術の利用により得られた生物に関する生物多様性影響等  
検討会（令和4年11月22日）  
学識経験者名簿

いとう 伊藤	もとみ 元己	国立大学法人東京大学大学院総合文化研究科 特任研究員
きじま 木島	あきひろ 明博	国立大学法人東北大学名誉教授
こんどう 近藤	ひでひろ 秀裕	国立大学法人東京海洋大学大学院海洋生物資源学部門 教授
さいとう 斎藤	けんじ 憲治	一般社団法人水生生物保全協会代表理事
さかくら 阪倉	よしたか 良孝	国立大学法人長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科 教授
さとう 佐藤	しのぶ 忍	国立大学法人筑波大学生命環境系 教授
しばいけ 芝池	ひろゆき 博幸	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境研究部門農業生態系管理研究領域 領域長
しまだ 嶋田	とおる 透	学習院大学理学部生命科学科 教授
すずき 鈴木	まさかた 雅京	国立大学法人東京大学大学院新領域創成科学研究科 准教授
たけうち 竹内	ゆたか 裕	国立大学法人金沢大学理工研究域生命理工学系 教授
つしま 對馬	せいや 誠也	特定非営利活動法人圃場診断システム推進機構 理事長
つむら 津村	よしひこ 義彦	国立大学法人筑波大学生命環境系 教授
ひらつか 平塚	かずゆき 和之	国立大学法人横浜国立大学大学院環境情報研究院 教授